ひまわりとコスモスと

姉妹都市アビリンとの交流のきっかけ 外之内 登美さん 姉妹都市交流部会長

祖父に連れられて初めて、Kansas を訪れた事を今でもよく憶えております。

広大な大地・どこまでも続く草原・まっすぐにのびる道。当時、 高齢で町長に就任した祖父の家族として付き添いで行きました が驚きの連続でした。何より初めて会った人々の暖かさには、 感銘を受けました。

昭和44年、当時の美野里町の酪農家海老沢光芳氏がアビリン市のハロルド・スキャンラン氏の牧場で酪農実習をしていた時、祖父が美野里酪農協同組合長として訪れました。その当時、スキャンラン氏は Kansas のホルスタイン協会の会長で、すばらしい午群をそろえていました。そこから牛3 頭購入し美野里町に送ったととが交流の始まりです。日本の酪農はアメリカがお手本でした。

その時祖父はアビリン市をとても気に入り、将来美野里町をこのような町にしたいと思ったそうです。

そして昭和59年、数人の町会議員と共にアベリン市へ向かい、 スキャンラン氏の尽力で姉妹都市の提携がスムーズに行えました。その時の祖父の嬉しそうな顔を忘れません。

当時の私は、アビリン市がアイゼンハワー大統領のホームタウンだと知って少しの驚きがありました。あの第2次世界大戦の最高司令官としてノルマンディー攻略作戦を成功に導いた英

雄です。そのアイゼンハワー大統領の生誕 100 年祭が平成2年にあり、その時も付き添いで訪問しました。その時の訪問団の一員で、お父様を広島の原爆で亡くされた方がおりました。その方が交流会でスピーチをされ、戦争のことやお父様のことを話されていたことを憶えております。その当時のアメリカでは原爆投下は戦争を終わらせるために正当化している人たちがほとんどでした。その方の想いは、どのようにアビリン市の人々の胸に届いたのでしょうか?先目、国連で核兵器禁止条約が批准されました。世界で唯一原爆投下をしたアメリカ。そして唯一の原爆被爆国の目本は核廃絶へ努力は不可欠です。戦争を体験している祖父がどのよう気持ちでアイゼンハワー大統領の記念館を見学したのか? 平和を思う時、いつもあの遠い地に暮らすアビリン市の人々へ想いを巡らせます。平和だからこそ出来る交流です。

私たちの交流は小さな小さな交流ですがその先には世界平和という大きな夢があります。祖父はそのようなメッセ・ジを、私たちに残したかったのかもしれません。この交流が未長く続くことを想いながら、あの初めてのアビリンを思い出しました。

Information!

国際交流人材リスト登録者募集



・ホストファミリーボランティア (外国人のホストファミリーをしていただける方)

夏の姉妹都市訪問団受入事業や、その他受入の際にホストファミリーとしてご協力していただける方を募集しています。

初めて受入をする方、英語が話せない方でも大歓迎です!



・語学ボランティア (語学力を活かして通訳などをしていただける方)

外国語を話せる方を募集しています。市内で言葉が通じず困っている方のお 手伝いや、姉妹都市から来た訪問団への通訳のお手伝いなど、英語に限らず、 多言語募集しています!



・イベントボランティア(国際交流ひろば等イベントに協力していただける方)

国際交流に関するイベントに参加してくれる方を募集します。国際交流に携わったことがなくても、イベントの企画にご興味のある方、当日だけお手伝いでも大歓迎です!

【問い合わせ】 小美玉市国際交流協会事務局 市民協働課 TEL:0299-48-1111 FAX:0299-48-1199

小美玉市

国際交流通信

Omitama International Report

Vol.15 2020.12.24

小美玉市<mark>の企業に期</mark>待される 技能実習生(養鶏場編)

日本とベトナム

を
対
等
の
提供をいただきました

世界の味紹介 3

ひまわりとコスモスと 4



+++++++++++++++++



外国人と小美玉市民を つたぐ 広報紙

広報紙『国際交流通信』は小美玉市国際交流協会の、多文化 共生部会のボランティアの皆さんによって作成されています。 国際交流事業の紹介、多文化共生の取り組み、姉妹都市ア ビリンに関する幅広い情報を皆様にお伝えしていきます。

発行しました広報紙は、市HPからもご覧になれます。



小美玉市の企業で期待される

自慢の黄身の色の安心・安全な卵を生産している島田養鶏 さん (小美玉市羽鳥)。 社長の島田さん・実習生に、小美玉 の生活、仕事についてお聞きしました!

〇実習生の 1 日のタイムスケジュール

7:00 ~	ニワトリへのえさやり
8:00~	休憩
8:30 ~	卵拾い・出荷準備
12:00 ~	お昼休憩
13:00 ~	卵拾い・出荷準備
15:00 ~	休憩
15:30 ~	ニワトリへのえさやり
	小屋のそうじ

社長の島田さんへ質問!

Q: 実習生の受け入れについて教えてください。

A:10年ほど前からインドネシアの実習生の受け入れを始 めました。彼らがいてくれて、仕事は助かってます。

Q: 実習生への指導で注意している点はなんですか。

A: 外国人だから、日本人と違うということは特にありま せん。でも、日本語がわからなくて同じミスを何度もくり 返さないように、私が言っていることがちゃんと伝わって いるか確認します。

Q:実習生を受入れてみて、どうですか。

A: いろんな子がいます。日本で働いて、国の家族を支え ている子もいます。帰国してからもうまくやっていること を見ると、うれしいです。

日本とベトナム

衣類等の提供をいただきました!



太切につかいます!



0:どうして日本へ来ましたか?

(ワヤンさん): いとこが日本にいて、おもしろい国だと 聞きました。小美玉はインドネシアの友だちもいっぱい いるし、羽鳥はスーパーもあって便利です。

Q:日本に来る前とイメージは違いましたか?

(ナタさん):同じです。きれいな国だと思います。道に ゴミも落ちていないし、ルールをよく守ります。

O:日本に来て大変だったことは何ですか?

(トゥルンさん):日本語です。日本語教室サバイディに 通って勉強しています。いつも応援してくれている人が いると感じます。日本語は大変だけど、がんばれば絶対 できると思っています。あと、大変なのは気温です。寒 いのは苦手です。夏は暑くて倒れたこともあります。

Q:これからの予定は?

(ワヤンさん):実習が終わってもインドネシアに帰りた くないです!日本が好きです。コロナの影響もあって、 あと1年実習が延長できました。今の仕事をとにかく頑 張ります。





▲トゥルンさんが描いたバリの絵

今回、日本ベトナム友好協会茨城県連合会の砂川豊 朗さんから「県内の外国人に役に立ててもらいたい」 と、ハーフパンツやポロシャツ、リュックサックなど を小美玉市内の日本語教室に通う、外国人市民の皆さ んにプレゼントしていただきました。

受け取ったカンさんは「日本人の方が私たちのこと を考えてくださり、うれしいです!」と話していまし た。砂川さんには、お礼の気持ちを込めて色紙や手紙 を差しあげました。

(郡司 眞知子)

世界の味紹介



SRI LANKA CURRY RASAI スリランカカレー ラサイ

> ♥ ● ランチ AM11:00 ~ PM2:00 ディナー PM5:00 ~ PM10:00 定休日 月曜日 日曜日(ランチのみ営業)

小美玉市大谷 282-4 石岡小美玉スマート IC から





『ラサイ』は本場のスリランカのカレーをメインに 提供しているお店で今年の6月にオープンしました。 店名の『ラサイ』とは、スリランカの言葉でおいしい という意味があります。

スマートインターからも近く、時折SNSを見てき たというお客様も来てくださいます。

ラシタさん (ホール担当)

・ペーディゲ・ラシタ・カリンダ・グナラナタ

私は、日本で働きたいと思い26歳の時に日本に来ま した。私のふるさとはスリランカのラトナプラという 首都のコロンボから車で1時間くらいの宝石の産地で 有名な所です。スリランカも日本と同じように仏教徒 が多く、国民の80%くらいの割合を占めています。

開店してから分かったことですが、小美玉市やその 周辺にもスリランカ人が多く住んでいます。これは私 にとって嬉しいことでした。

7月にはスリランカから妻と息子が来日しました。 私の原動力になっています。将来的にも妻と息子と仲 良く健康でここで暮らせたらと思います。

この店の料理は本場スリランカ産のスパイスを多く 使っています。小美玉市産のナスやインゲンなどの野 菜も使っています。

日本人のお客様にも食べやすい辛くないメニューや お子様向けのメニューも取り揃えています。お客様の 割合は、ランチ時は日本人の方が多いです。

(堤 千穂・岡村 治美)



to the 食べに来て



おしえて! 中国語!

最近のSNSやネット用語等のことばを、中国ではなんて言うんだろうと思い、 小美玉市にお住いの張貴雲(チョウキウン)さんに紹介していただきました!



最近、会社を立ち上げ、これからの活 躍が期待される二児の若きパパです!

発音の似ている漢字を当てている音訳です

Facebook 书=本(book)

脸 = 面 (face)

という意味です

Tik Tok

音の漢字と意味の漢字を組み合わせたものです

臨機応変に漢字に変換する早技、おもしろいと思いませんか? 漢字って感字かも?!

(加藤 恵子)